

# お知らせ

平成 21 年 1 月 30 日  
国土交通省福島河川国道事務所

## 阿武隈川上流危機管理演習」の開催について

### ～ 実践的なロールプレイング方式による災害対応演習 ～

2月3日、国土交通省福島河川国道事務所と福島県及び阿武隈川沿川市町村は、阿武隈川上流を対象に「大規模洪水被害における防災担当者の危機管理に対する対処能力の向上を図ることを目的」として、実践的なロールプレイング方式による災害対応演習』を実施します。

阿武隈川流域では昭和61年、平成10年、平成14年などたびたび水害に見舞われてきました。また近年、全国各地で記録的な降雨や局地的な豪雨により、過去の経験を上回る洪水が発生し、大きな被害が発生しています。

これには、刻々と変化する自然現象に対し、行政側の情報の共有化と迅速かつ確な判断、そして住民への適切な情報発信がもとめられ、日頃からの実践的な訓練が必要です。

そこで今回の訓練では、阿武隈川における大規模洪水時において、住民避難を中心に福島河川国道事務所「福島県」「自治体」での情報連携を主目的とした「実践的なロールプレイング方式による災害対応演習』を実施します。

なお、阿武隈川上流における「ロールプレイング方式による災害対応演習」は、平成16年11月4日にも実施しており、今回が2回目の演習となります。

### 記

1. 演習名 : 平成20年度 阿武隈川上流危機管理演習
2. 演習実施日 : 平成21年2月3日(火) 10:00～16:00  
開会・準備 10:00～11:00  
演 習 11:00～15:00  
反省会 15:15～16:00
3. 演習会場 : 福島河川国道事務所内(1～3階会議室及び防災センター)  
マスコミ関係者の受付は、3階の廊下
4. 参加機関 : 【演習への参加】  
・福島河川国道事務所 ・東北地方整備局  
・福島県 ・須賀川市  
【見学者プログラムとして参加】  
・玉川村 ・郡山市 ・本宮市 ・二本松市 ・福島市 ・伊達市  
・桑折町 ・国見町
5. 別添資料 : 阿武隈川上流危機管理演習(見学者用資料)

《記者発表先:福島県県政記者クラブ、福島市政記者会》

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 福島河川国道事務所  
事業対策官  
計画課長

芦野 勝 (内線208)  
井上 秀秋 (内線261)  
TEL 024-546-4331(事務所代表)

平成20年度

# 阿武隈川上流危機管理演習



日時：平成21年2月3日(火)10時00分～16時00分

場所：福島河川国道事務所

(福島県福島市黒岩字榎平36番地)

参加機関：ロールプレイング方式による危機管理演習

東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県 須賀川市

見学者プログラム

玉川村 郡山市 本宮市 二本松市 福島市 伊達市

桑折町 国見町

# プログラム

10:00	10:00 ~ 10:10 挨拶	
	10:15 ~ 10:30 事前説明	
11:00	10:35 ~ 11:00 作戦タイム	10:35 ~ 11:45 見学者プログラム ; 1部 危機管理演習についての講義
12:00	11:00 ~ 15:00 ロールプレイング方式による危機管理演習	11:45 ~ 12:45 昼食
13:00		12:45 ~ 15:00 見学者プログラム ; 2部 討議型演習とロールプレイング演習の見学
14:00		
15:00		
16:00	15:15 ~ 16:00 検討会及び講評	

ロールプレイング方式による危機管理演習

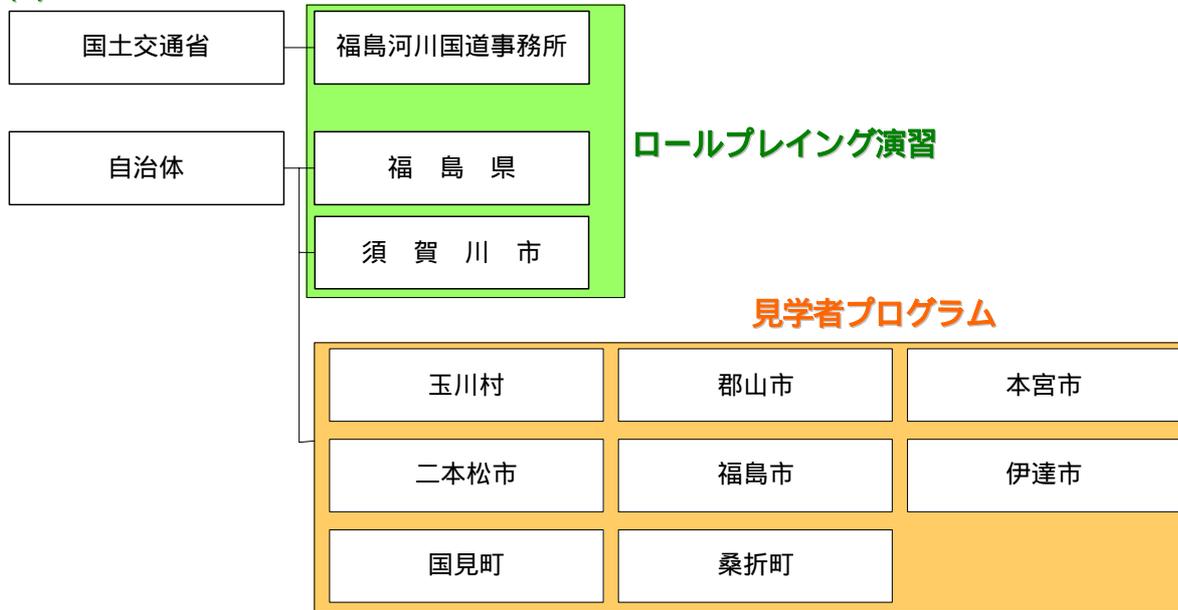
見学者プログラム

# 1. 演習概要

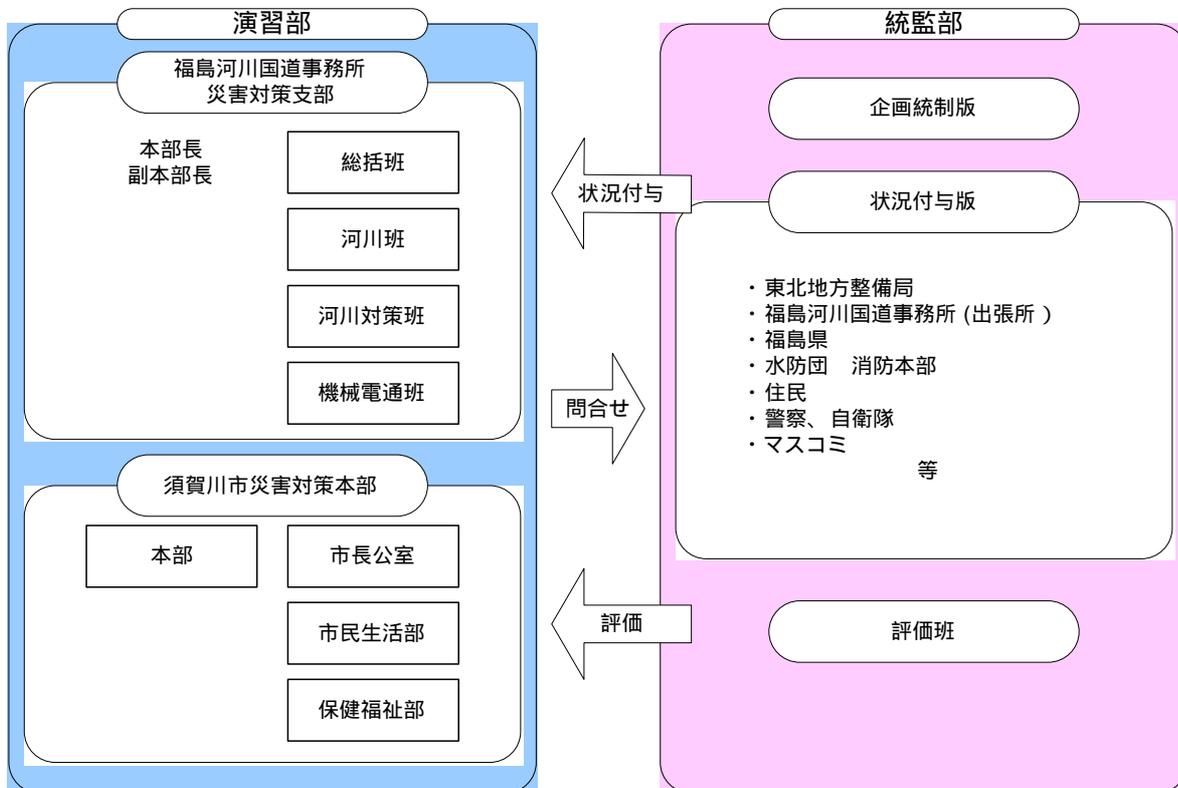
## (1) 演習目的

阿武隈川上流を対象に、大規模洪水災害における防災担当者の危機管理に対する対処能力の向上を図ることを目的として、**実践的なロールプレイング方式による災害対応演習を実施**します。

## (2) 演習機関



## (3) 演習編成

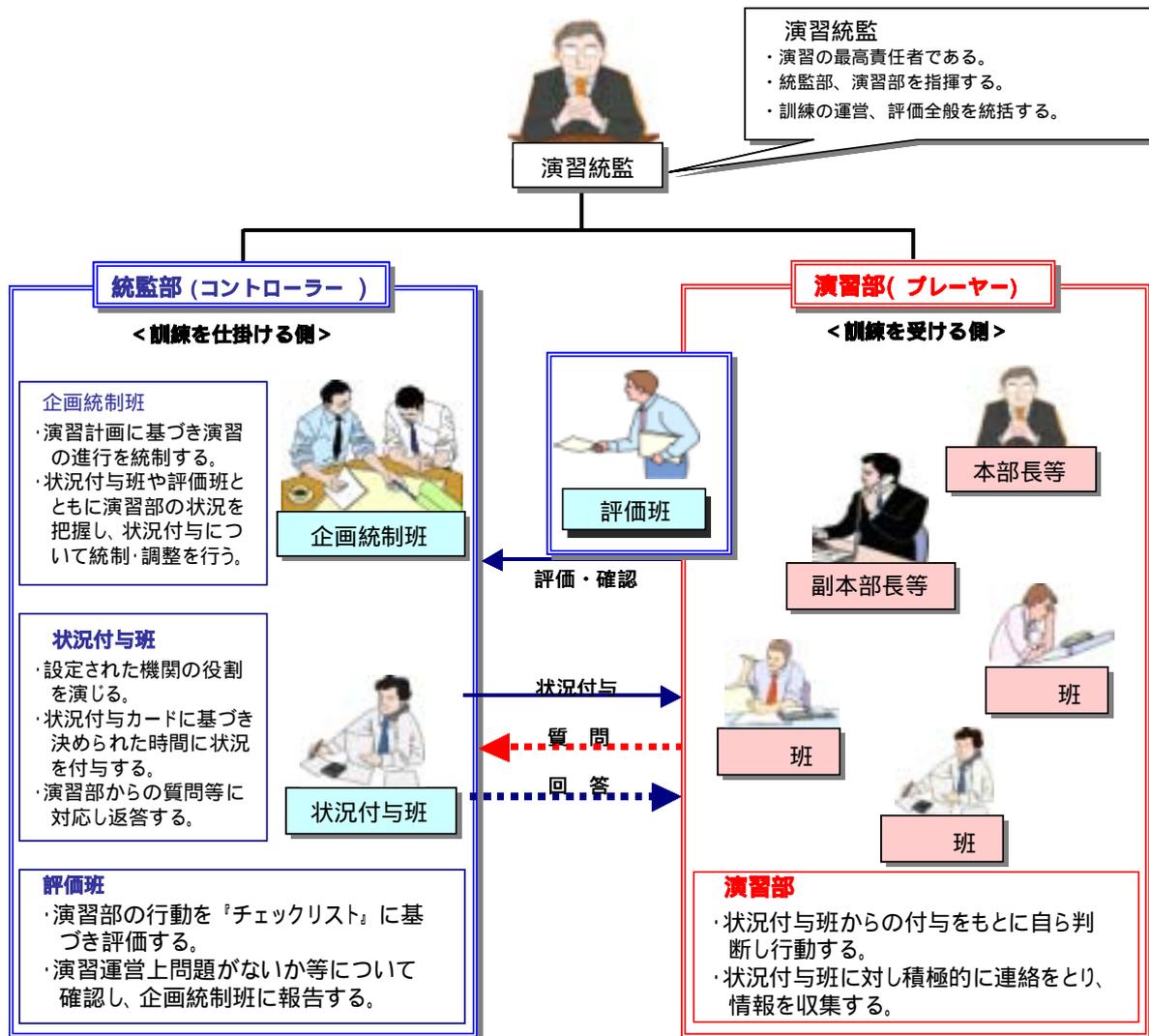


## (4) 演習方式(ロールプレイング方式)

ロールプレイング方式による危機管理演習は、実際の災害時に近い場面を設定して、災害対策本部を構成するそれぞれの立場(役)で災害対応を模擬体験する演習で、「役割演技法」とも言われます。

演習全体の組織を大きく分類すると 演習統監、統監部、演習部の3つに分かれ、統監部はコントローラー、演習部はプレーヤーとも呼ばれます。

統監部は、企画統制班・状況付与班(ダミー班とも呼ばれる。)・評価班に分かれ、演習部は各組織に応じて班等を構成します。



演習部は、演習シナリオ(災害発生規模、時間、被災規模等)を知らず、統監部の状況付与班から次々と与えられる『状況付与』(様々な災害に関する情報等)に対して、判断・分析・災害対処活動を図上で行います。

この演習の効果として、「防災担当者の災害対処能力の向上」「組織間の連携強化」「防災関係マニュアル、体制等の検証」等がなされ、実際の災害に対する防災関係機関の災害対処能力の向上が期待できます。

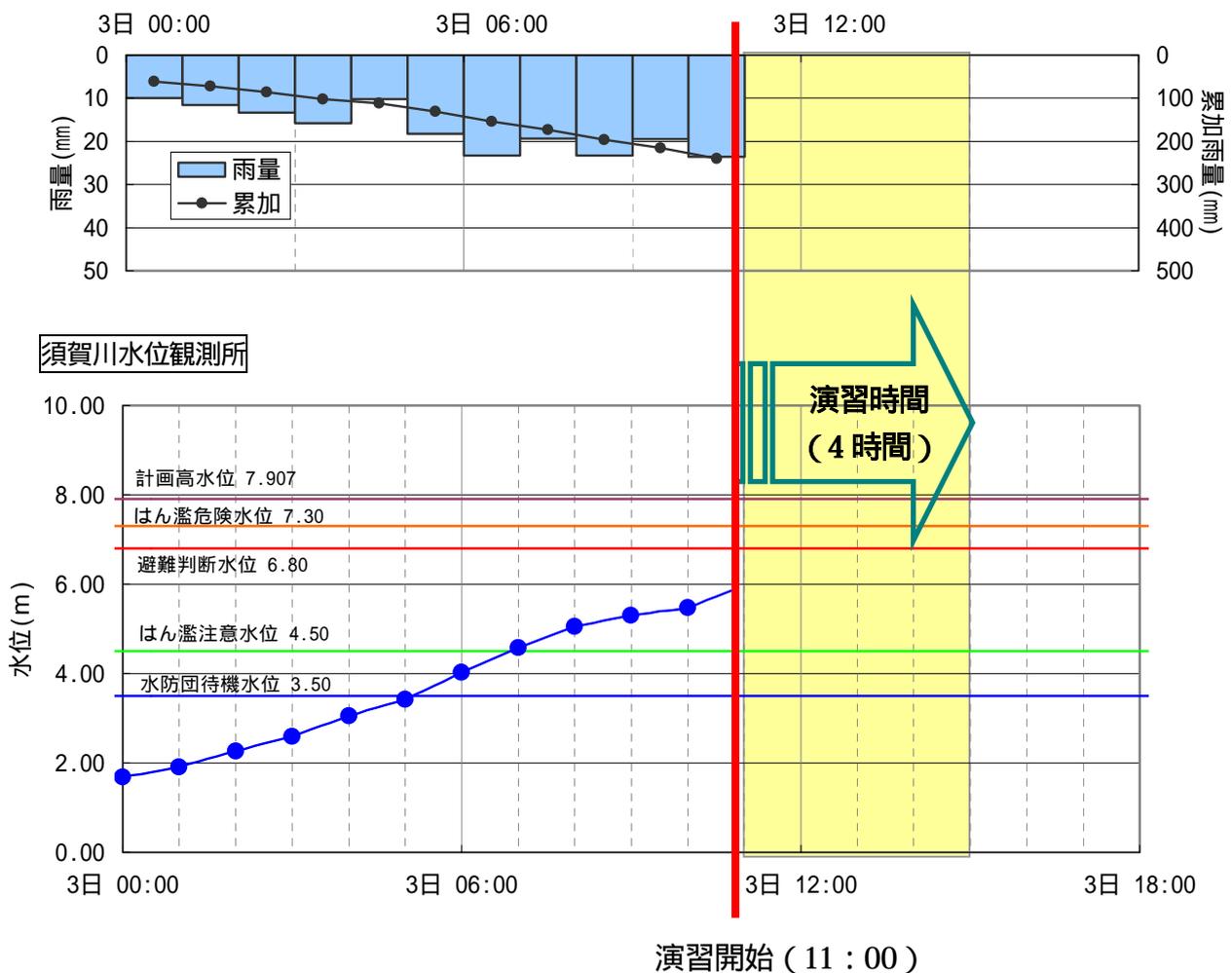
## 2. 演習想定

### (1) 演習シナリオ

台風 99 号は 2 日室戸岬沖を北上、3 日未明房総半島を通過し、東北地方の太平洋岸沿いを北北東に進みました。関東地方の北部に停滞していた梅雨前線が台風の北上に伴い活発化し、福島県内では 2 日未明から 3 日午前中にかけて広い範囲で雨が降り続き、福島地方気象台では、気象情報及び土砂災害警戒情報を発表し、注意を呼びかけています。

この台風に伴い、阿武隈川の各所で被害が発生する状況を設定しています。

### 【演習シナリオの概要】



## (2) 演習のねらい

演習部の各機関は、演習シナリオに従い発生する災害に関する条件の付与を受け、関係機関等から積極的に情報を収集・分析して状況判断を行い、関係機関との連携を図りつつ、災害対応を実施していきます。

### 1) 福島河川国道事務所

情報の収集・整理・伝達・共有  
災害予測の判断と伝達  
関係機関との連携  
災害復旧の資機材の活用、安全対策

### 2) 福島県

水防警報・洪水予報などの市町村への伝達  
市町村からの要請への回答

### 3) 須賀川市

水文情報及び被害情報の収集・整理・伝達・共有  
災害予測の判断  
住民の安全な避難（避難勧告・指示の発令、避難誘導）  
関係機関（福島河川国道事務所、福島県等）との連携

### 3.見学者プログラム

#### (1) 見学者プログラムのねらい

見学者プログラムでは、講義、討議及びロールプレイング方式による演習を見学することを通じて、災害時に必要な対処行動について具体的にイメージし認識を図ることを目的としています。

#### (2) プログラム内容

---

全体挨拶・事前説明 10:00～11:30

---

1部；危機管理演習についての講義 10:35～11:45

(1)演習概要及び自己紹介

(2)ロールプレイング方式による危機管理演習とは

(3)水位レベルに応じた自治体の災害対応事項について

(4)ロールプレイング演習の演習想定

・ロールプレイング演習で設定した被害想定、演習シナリオ等について講義を行う

---

2部；討議型演習とロールプレイング演習の見学 12:45～15:00

(1)討議型演習

・ロールプレイング演習で設定した被害想定や演習シナリオを基に、災害時の行動を具体的にイメージし、討議を実施する。

(2)ロールプレイング演習の見学及び評価

(3)とりまとめ

---

検討会及び講評 15:15～16:00

# 阿武隈川上流危機管理演習会場配置図

3階

2階

1階

